

初の全国大会へ闘志を燃やす八戸大ナイン



八戸大軟式野球部

来月熊本で 初出場「優勝目指す」

11月19、23日に熊本県で開かれる全日本大学軟式野球選手権に、八戸大が初出場する。本館洋輝主将(3年)は「花巻東高出は「守りからリズムをつくる野球で一つ一つ勝ち上がり、優勝を目指す」と張り切っている。

八戸大は9月17、23日に三沢市で開かれた県予選(リーグ戦)を4戦全勝で1位通過。10月2、3日に岩手県で行われた奥羽地区予選では、初戦で盛岡大に5-2で勝利。決勝では県予選2位の弘前大を1-0で下し、全国大会出場を決めた。

部員は現在20人で、大半が高校時代の硬式野球の経験者。エース浪岡祐真(4年)は盛岡市立高出は多彩な変化球を武器に、打たせて取る投球が身上。主砲河村陵平(4年)は光星高出はパンチ力十分だ。専用グラウンドを持たない厳しい練習環境の中、週3回の練習で悲願を達成した。

全国大会には各地区代表23校が出場する。本館主将は「初戦では九州代表と対戦予定。本番までしっかりと練習して、チームワークの良さを生かして頑張りたい」と意気込んでいる。

全国大会 みなぎる闘志